



睦み合いの心

教育目標

学び合い 睦み合い
元気でねばり強い むつみっ子

めざす子ども像

学び合う子ども

睦み合う子ども

元気でねばり強い子ども

重点課題

確かな学力の定着

望ましい学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組むことができる。

実践事項

1 「主体的、対話的で深い学び」を目指す授業を実践します。

- 思考力・判断力・表現力を高め「わかった・できた」を実感できる授業実践
- 複式教育の工夫
- 学び方の定着（ファシリテーターの育成）

2 自ら学びを進める学習習慣を育成します。

- 徹底反復の推進
- 家庭と連携した家庭学習の推進（家庭学習スタンダードの活用）
- 自主学習の工夫（自主学習のガイダンスとR-PCDAの意識化）
- タブレットの有効活用

3 読書習慣を育成します。

- 学校図書館の環境整備（調べ学習・並行読書など）
- 読書活動の充実（図書ボランティア・読み聞かせ・家読）

豊かな人間関係づくり

自他を大切にすることをもち、快くすすんで協力できる。

1 望ましい人間関係を育成します。

- 互いの良さを認め合う活動の推進
- 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成（「むつみっ子の一日」、毎月のめあて）
- 縦割活動、異学年交流活動の充実

2 人権を尊重する豊かな心を育成します。

- 道徳的判断を促す「道徳科」の授業の充実
- 教育相談体制の充実（QUテスト、いじめアンケート、教育相談、学び方教室、SC・SSWとの連携）
- 人権課題を意識した指導（人権教育）
人権課題：LGBT、インターネット、いじめ、震災等による人権侵害

3 豊かな社会性を育成します。

- 体験活動の充実（自然文化体験、出張講座、ふるさと学習、キャリア教育）

健やかな心と体の育成

基本的な生活習慣を身に付けて、目標に向かい努力することができる

1 基本的な生活習慣を育成します。

- 心身の健康を保つ生活習慣の育成（早寝・早起き・朝ごはん）
- 食育の推進（栄養のバランスのとれた食事、栄養素と体の成長等）

2 体力の向上を図ります。

- 学習カードの活用による継続的な運動への取組と運動習慣の定着
- 運動身体づくりプログラムの実践による体力の向上

3 健康・安全教育の充実を図ります。

- 専門家による各種安全教育の実施（生活安全、交通安全、災害安全）
- 放射線教育の充実
- 感染防止対策の徹底

特別支援教育の充実

- 個に応じた支援
- SC、SSW等との連携
- 通級指導教室との連携

社会に開かれた教育課程の実現

家庭との連携

- ICT教育の一層の推進（町連P連携）
- 「家読（うちどく）」の推進
- 積極的な情報発信（学年だよりや学校HPの活用）

地域との連携

- ゲストティチャーの活用
- 幼稚園や町内各学校等との連携
- 学校評議員会（年2回開催）
- 地域行事への参加奨励
- 地域素材の教材

教育活動の基盤整備・多忙化解消

- GIGAスクール構想への対応
- 校務分掌資料のデータ化（校務のICT化）

新しい生活様式を意識した教育

制約がある中でも最大限の教育効果

学校の経営方針

- 1 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
- 3 少人数の良さを生かした学習指導・生徒指導
- 4 人権意識を高め「いじめ見逃し0」を目指す
- 5 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 6 読書指導の充実
- 7 指導力を培う校内研究・研修充実

目指す教職員像：小規模校（複式学級）のメリットを生かす3ワーク

- チームワーク：全職員の良さを生かす意識
- フットワーク：役割を果たし、互いの業務の隙間を埋める意識
- ネットワーク：保護者・地域・関係機関との良好な関係を築く意識

第7次福島総合教育計画

目指すべき姿
「個人と社会のWell-being（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現」
桑折町教育振興基本計画（2022～2031）
教育委員会重点事項
「桑折町の15歳のめざす姿」

保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせてたい。
- 自分から学習に取り組んで欲しい。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせたい。
- 健康で強い心と体を育てたい。